

A：肯定的回答80%以上 B：肯定的回答50%以上80%未満 C：肯定的回答50%未満

項目	評価者	設問	回答割合	R7 評価		R6 評価	成果と課題	対応・取組
				肯定的回答	否定的回答			
学校教育目標	生徒	学校教育目標を知っている。	37% 51% 10%	A	A	・学校教育目標については、たよりや行事予定、ホームページメール配信等に載せることで、かなり浸透を図ることができた。	・引き続き、学校だよりやホームページ、メール等において、学校教育目標やめざす○○像、生徒会スローガン等を掲載し、保護者に意識していただけるよう広報していく。 ・以前と比べるとあいさつの評価が下がり気味である。あいさつやふるまいについて、子どもたちと一緒に考える場を作っていきたい。 ・新生徒会においても、生徒同士がつながりを深めるための活動を企画していきたい。	
		二中の学校教育目標を知っている（見たり聞いたりしたことがある）。	27% 56% 14%	A	B			
		二中の学校教育目標を知っている（見たり聞いたりしたことがある）。	93% 7%	A	A			
		学校教育目標を意識しながら指導・支援をしている。	58% 42%	A	A			
		学校教育目標を意識して生活することがあった。	25% 56% 17%	A	B			
		中学生は、誰もの幸せを考えようとしていると思う。	11% 57% 30%	B	B			
	保護者	中学生は、誰もの幸せを考えようとしていると思う。	29% 71%	A	A			
		生徒は、誰もの幸せを考えようとしていたと思う。	8% 67% 25%	B	B			
		地域	時と場に応じた気持ちのよいあいさつを心がけている。	57% 41%	A			A
			中学生は、時と場に応じた気持ちのよいあいさつをしている。	18% 62% 19%	B			A
	職員	中学生は、時と場に応じた気持ちのよいあいさつをしている。	57% 43%	A	A			
		生徒は、時と場に応じた気持ちのよいあいさつをしていると思う。	79% 21%	B	B			
	生徒会スローガン	生徒	いろいろな人と協力して、つながりを広げたり深めたりしている。	49% 46% 6%	A			A
			中学生は、いろいろな人と協力して、つながりを広げたり深めたりしていると思う。	13% 61% 25%	B			A
保護者		中学生は、いろいろな人と協力して、つながりを広げたり深めたりしていると思う。	29% 71%	A	A			
		生徒は、いろいろな人と協力して、つながりを広げたり深めたりしている。	21% 67% 13%	B	B			
地域		「ありがとう」などの感謝の気持ちを、言葉にしたり態度で表したりしている。	66% 32%	A	A			
		中学生は、「ありがとうございます」などの感謝の意を他者に伝えることができると思う。	13% 67% 19%	B	A			
職員		中学生は、「ありがとうございます」などの感謝の意を他者に伝えることができると思う。	29% 71%	A	A			
		生徒は、「ありがとうございます」などの感謝の意を伝えることができる。	13% 67% 21%	B	A			
生徒		”つながりタイム”などの生徒会行事では、楽しい時間を過ごすことができている。	62% 34%	A				
保護者								
地域								
職員	生徒は、”つながりタイム”などの生徒会行事では、楽しい時間を過ごすことができている。	33% 67%	A					

※「地域評価」は、学校運営協議会の委員さんや主任児童委員さんが回答しています。  
 ※母数、四捨五入の関係で、%の合計が100%にならない項目があります。  
 ※始業時刻のアンケート（2,3年生用）に、1年生生徒が回答しているため、この項目の値は参考値とします。  
 ※自由記述に関しては、HP上では省略します。

A：肯定的回答80%以上

B：肯定的回答50%以上80%未満

C：肯定的回答50%未満

項目	評価者	設問	回答割合	R7 評価		R6 評価	成果と課題	対応・取組
				肯定的回答	否定的回答			
めざす生徒像	自分をみつめ大切にしている生徒	生徒 自分の長所や短所を理解しているつもりだ。	37% 51% 12%	A	A	・睡眠やメディア接触時間等、生活習慣についての質問は、生徒と職員・保護者の評価に大きな差がある。 ・アドジャントークやつながりトーク、エンカウンターを取り入れたことで、生徒同士で相手のことを考え、つながりを大切にしようとする意識が高まったように思われる。 ・アドジャントークやつながりトーク、エンカウンターを取り入れたことで、生徒同士で相手のことを考え、つながりを大切にしようとする意識が高まったように思われる。 ・Let's Tryヘルスライフを有効活用し、睡眠時間の確保、メディア接触時間の短縮等、自分で生活習慣の見直しができるような仕組みを構築する。	・アドジャントークやエンカウンターに引き続き取り組み、めざす生徒像の実現をめざす基盤としていく。また、ソーシャルスキルトレーニングを取り入れ、他者とのより良い接し方について学ぶ機会を増やす。	
		保護者 自分の子どもは、自分の長所や短所を理解している。	17% 60% 24%	B	A			
		地域	4%					
		職員 生徒は、自分の長所や短所を理解していると思う。	42% 46% 8%	C	B			
		生徒 自分のことが好きである。	23% 48% 23% 7%	B	B			
		保護者	0%					
		地域	0%					
	職員 生徒の自己肯定感が高いと思うと思う。	42% 54% 4%	C	B				
	生徒 睡眠やメディア接触時間を含め、健康のことを考えながら、家庭での過ごし方を工夫している。	32% 47% 19% 2%	B	B				
	保護者 自分の子どもは、睡眠やメディア接触時間を含め、健康のことを考えながら、家庭での生活をしている。	32% 55% 5%	C	B				
	地域	8%						
	職員 生徒は、睡眠やメディア接触時間を含め、健康のことを考えながら、家庭での生活時間を工夫している。	42% 54% 4%	C	C				
	人とのつながりを大切にしながら学びをつなぐ生徒	生徒 他の方の気持ちを考えて、話したり遊んだりすることがある。	51% 47%	A	A			
		保護者	0%					
地域 中学生は、友だちの気持ちを考えて、話したり遊んだりしている		21% 79% 0%	A	A				
職員 生徒は、周囲の方の気持ちを考えて、話したり遊んだりしている。		42% 54%	C	B				
生徒 授業中、他の方の意見や考えを参考にしながら学習することがある。		55% 42%	A	A				
保護者 自分の子どもは、授業中、友だちの考えを参考にしながら学習していると思う（授業参観等を通して）。		7% 64% 27% 1%	B	B				
地域 中学生は、授業中、友だちの考えを参考にしながら学習していると思う（授業参観等を通して）。		21% 71% 7%	A	B				
職員 生徒は、授業中、他の生徒の考えを参考にしながら学習している。	8% 54% 38%	B	A					
生徒 疑問をもったことは、自分で調べようとしている。	38% 49% 13%	A	A					
保護者	0%							
地域	0%							
職員 生徒は、疑問をもったことは、自分自身で調べようとしている。	33% 67%	C	C					

※「地域評価」は、学校運営協議会の委員さんや主任児童委員さんが回答しています。

※母数、四捨五入の関係で、%の合計が100%にならない項目があります。

※始業時刻のアンケート（2,3年生用）に、1年生生徒が回答しているため、この項目の値は参考値とします。

※自由記述に関しては、HP上では省略します。

A：肯定的回答80%以上

B：肯定的回答50%以上80%未満

C：肯定的回答50%未満

項目	評価者	設問	回答割合	R7 評価		R6 評価	成果と課題	対応・取組	
				肯定的回答	否定的回答				
めざす保護者像	子どもを見守り環境を整える保護者	生徒							
		保護者	自分の子どもの考えや思いを尊重している。	19%	73%	8%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものことを第一に考えている保護者が多い。</li> <li>・生活時間の違いからか、子どもの生活をすべて把握できていない状況がある。</li> <li>・保護者同士の関わりについては、広い校区から集まっているため、同じ部活動以外の保護者のことが十分にわからない状況にある。</li> <li>・親子奉仕作業が悪天候のため中止になったことで、より交流の場がなくなってしまった。</li> </ul>
		地域							
		職							
		員							
		生徒							
	保護者	自分の子どもの、睡眠やメディア接触の環境を整える支援をしている。	12%	58%	27%	B	B		
	地域								
	職								
	員								
	生徒								
	保護者	保護者等、大人同士の関わりを大切にしている。	13%	51%	32%	B	B		
地域									
職									
員									
生徒									
保護者	PTA活動等に参加するなど、自分なりに子育てに関する情報を得ている。	12%	54%	29%	B	B			
地域									
職									
員									

A：肯定的回答80%以上

B：肯定的回答50%以上80%未満

C：肯定的回答50%未満

項目	評価者	設問	回答割合	R7 評価		R6 評価	成果と課題	対応・取組	
				肯定的回答	否定的回答				
めざす地域・社会像	子どもを見守り地域・社会環境を整える	生徒							
		保護者							
		地域	学校行事を見たり、登下校の見守り・声かけをしたりしている。	43%	43%	14%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全旬間にあわせて、朝の見守りや声掛けを協力していただいた。</li> </ul>
		職							
		員							
		生徒							
保護者									
地域									

※「地域評価」は、学校運営協議会の委員さんや主任児童委員さんが回答しています。

※母数、四捨五入の関係で、%の合計が100%にならない項目があります。

※始業時刻のアンケート（2,3年生用）に、1年生生徒が回答しているため、この項目の値は参考値とします。

※自由記述に関しては、HP上では省略します。

A：肯定的回答80%以上 B：肯定的回答50%以上80%未満 C：肯定的回答50%未満

項目	評価者	設問	回答割合	R7 評価		R6 評価	成果と課題	対応・取組			
				肯定的回答	否定的回答						
めざす職員像	子どもを見守り環境を整える職員	生徒	先生は、あなたの思いや考えを大切にしてくれている。	47%	48%	5%	0%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの項目で4者とも肯定的回答がA評価であった。</li> <li>・職員の負担感軽減、余暇の時間の確保をめざし、月曜日の生活時程、職員朝礼や各種会議、行事の持ち方を見直したり、ICT活用の研修等を実施したりしたが、あまり効果が見られなかった。</li> <li>・放課後や休日の部活動指導の負担が大きく、目標としている時間外勤務の時数を超過している職員がいる。</li> <li>・生徒や保護者に対し、誠実な対応を心がけているが、お互いの情報共有が不十分なケースがあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の負担感軽減、ワークライフバランスを考えると、余裕があつてこそ、生徒や保護者への誠実かつ組織的な対応が出来ると考えている。</li> <li>・ゆとりのある職員の働き方について具体案を考え、新年度当初から実行していく。(ICTの活用や校務DXの推進)</li> </ul>
		保護者	教員は、子どもの主体性を尊重する姿勢で支援している(授業参観等を通して)。	17%	65%	15%	2%	A	A		
		地域	教員は、生徒の主体性を尊重する姿勢で支援をしている(授業参観等を通して)。	64%	36%	0%	0%	A	A		
		職員	生徒の主体性を尊重する姿勢での支援を心がけている。	25%	71%	4%	0%	A	A		
		生徒	先生には、自分で考える機会、生活や学習の環境等を整えてもらっている。	51%	45%	4%	1%	A	A		
		保護者	教員は、生徒が自分で考える機会を設定したり、学習や生活がしやすい環境を整えたりしている(授業参観等を通して)。	18%	63%	18%	1%	A	A		
		地域	教員は、生徒が自分で考える機会を設定したり、学習や生活がしやすい環境を整えたりしている(授業参観を通して)。	64%	36%	0%	0%	A	A		
		職員	生徒が主体的に考えたり、学習や生活しやすい環境を整えたりしようとしている。	38%	54%	8%	0%	A	A		
	生徒	先生は、先生同士や保護者・地域の方と連携・協力しようとしている。	45%	49%	6%	1%	A	A			
	保護者	教員は、保護者と連携・協力しようとしている。	25%	58%	15%	1%	A	A			
	地域	教員は、保護者や地域の方と連携・協力しようとしている。	29%	71%	0%	0%	A	A			
	職員	他の職員、保護者や地域の方と連携・協力することを心がけている。	50%	50%	0%	0%	A	A			
	生徒	先生は、よりよい授業をしようとしている。	52%	45%	3%	0%	A	A			
	保護者	教員は、よりよい授業をしようとしている(授業参観等を通して)。	14%	65%	18%	2%	B	A			
	地域	教員は、よりよい授業をしようとしていると思う(授業参観等を通して)。	57%	43%	0%	0%	A	A			
	職員	授業改善等の意識を常にもち、授業準備をしている。	46%	54%	0%	0%	A	A			

※「地域評価」は、学校運営協議会の委員さんや主任児童委員さんが回答しています。  
 ※母数、四捨五入の関係で、%の合計が100%にならない項目があります。  
 ※始業時刻のアンケート(2,3年生用)に、1年生生徒が回答しているため、この項目の値は参考値とします。  
 ※自由記述に関しては、HP上では省略します。

A：肯定的回答80%以上 B：肯定的回答50%以上80%未満 C：肯定的回答50%未満

項目	評価者	設問	回答割合	R7 評価	R6 評価	成果と課題	対応・取組			
								<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #d3d3d3; margin-right: 5px;"></span> 肯定的回答                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #808080; margin-right: 5px;"></span> 否定的回答                 </div> </div> <small>                     当てはまる・そう思う                      まめ当てはまる・そう思う                 </small> <small>                     あまり当てはまらない・あまり思わない                      全く当てはまらない・全く思わない                 </small>		
人権教育、より良い環境への取組等に関する事	睡眠に関する学習について	生徒	睡眠についての学習は、自分を大切にすることにつながると思う。	58% 肯定的回答 / 40% 否定的回答 / 2% 不明	A	A	・アドジャントークやつながりトーク、エンカウンターを取り入れたことで、生徒同士で相手のことを考え、つながりを大切にしようとする意識が高まったように思われる。	・生徒会活動を中心に、引き続きアドジャントークやつながりトークを実施し、生徒同士のつながりを強くしていきたい。		
		保護者	睡眠についての学習を中心として、家庭における生活リズムの改善をめざしていることは、生徒の現在・未来を大切にし、個々のパフォーマンス向上につながるよい取組だと思う。	37% 肯定的回答 / 57% 否定的回答 / 5% 不明	A	A				
		地域	睡眠についての学習を中心として、家庭における生活リズムの改善をめざしていることは、生徒の現在・未来を大切にし、個々のパフォーマンス向上につながるよい取組だと思う。	64% 肯定的回答 / 36% 否定的回答 / 0% 不明	A	A				
		職員	睡眠についての学習を中心として、家庭における生活リズムの改善をめざしていることは、生徒の現在・未来を大切にし、個々のパフォーマンス向上につながるよい取組だと思う。	58% 肯定的回答 / 42% 否定的回答 / 0% 不明	A	A				
	コミュニケーション能力と集団づくり	生徒	「アドジャン・トーク」の時間は、他の人との関係を深めるうえで、よい時間だと思う。	58% 肯定的回答 / 38% 否定的回答 / 4% 不明	A	A				
		保護者	円滑な人間関係を築くため、また、自己及び他者理解の推進をめざして「アドジャン・トーク」というスキルトレーニングを行っているが、このような取組は有益だと思う。	31% 肯定的回答 / 63% 否定的回答 / 6% 不明	A	A				
		地域	円滑な人間関係を築くため、また、自己及び他者理解の推進をめざして「アドジャン・トーク」というスキルトレーニングを行っているが、このような取組は有益だと思う。	50% 肯定的回答 / 50% 否定的回答 / 0% 不明	A	A				
		職員	「アドジャン」の時間は、二中学生にとって、有益で必要な時間である。	54% 肯定的回答 / 46% 否定的回答 / 0% 不明	A	A				
	教育課程、教育活動・教育環境の見直し	生徒	服装や学校のきまりを、生徒と大人が一緒になって見直したことはよかった。	46% 肯定的回答 / 51% 否定的回答 / 2% 不明	A	A			・生徒と大人が一緒になって服装やきまりについて考えたことについては、肯定的な意見が多かった。 ・始業時刻を早め、昼休みの時間を元に戻したことについても、肯定的な意見が多かった。	・引き続き、生徒と一緒に学校のきまりについて考えていきたい。
		保護者	服装や学校のきまりを、生徒と大人が一緒になって見直そうとしていることはよいと思う。	37% 肯定的回答 / 54% 否定的回答 / 8% 不明	A	A				
		地域	服装や学校のきまりを、生徒と大人が一緒になって見直そうとしていることはよいと思う。	71% 肯定的回答 / 29% 否定的回答 / 0% 不明	A	A				
		職員	服装や学校のきまりを、生徒と大人が一緒になって見直したことはよかった。	58% 肯定的回答 / 42% 否定的回答 / 0% 不明	A	A				
生徒		<2, 3年生のみ回答>始業時刻を早くし、昼休みの時間をもとに戻したことはよかった(昨年度は昼休みの時間を5分短くしていた)。	61% 肯定的回答 / 33% 否定的回答 / 4% 不明	A						
保護者		<2, 3年生保護者のみ回答>今年度より始業時刻を5分早くしたが、特に問題はなかった。	58% 肯定的回答 / 37% 否定的回答 / 2% 不明	A						
地域										
職員	<昨年度本校勤務の職員のみ回答>始業時刻を早くし、昼休みの時間をもとに戻したことはよかった(昨年度途中、給食時間を5分増やし、昼休みの時間を5分短くしていた)。	74% 肯定的回答 / 21% 否定的回答 / 5% 不明	A							

※「地域評価」は、学校運営協議会の委員さんや主任児童委員さんが回答しています。  
 ※母数、四捨五入の関係で、%の合計が100%にならない項目があります。  
 ※始業時刻のアンケート(2,3年生用)に、1年生生徒が回答しているため、この項目の値は参考値とします。  
 ※自由記述に関しては、HP上では省略します。